

はじめまして どうぞよろしく

さて、まずは、簡単な自己紹介をさせてください。学校長の小林哲郎です。寒川東中から教員人生をスタートさせ、寒川中に20年もいたので、やっとここ丘中へ来ることができました。専門教科は美術です。好きな食べ物は麺類全般、一番長くやってきたスポーツはソフトテニスですが、どんなスポーツも見るのは好きです。学生時代にバンドを組んでいたこともあるので、音楽は80年代ポップスを中心に良く聴きます。これからどうぞよろしくをお願いします。



さて、皆さんにお伝えしたいことは3つです。

ひとつめ「、まずこの1年間ぜひ健康に過ごしてほしい。」ということです。コロナがなくなったわけではありませんが、少しずつ普通の日常が戻ってきそうです。今年は給食も始まります。いろいろな変化があるでしょう。きっと疲れることもあると思いますので、よく食べて、よく寝て、しっかり休息をとることを意識的にやっていきましょう。特に体が疲れすぎると、心が疲れてきます。心が疲れるとその疲れはなかなかとれません。そうなる前にしっかり休養を取ることを心がけてください。

ふたつめ、「そのままの君でいいよ」という言葉をよく耳にします。私も嫌いではありませんので、よく使っていたと思います。でも、ものすごく成長する中学生に、この言葉は果たして本当に適切なのか疑問もありました。そんなとき、今年の2月に発売されたとある本で、こんな風にかかれていてとても共感しました。そこには、10代の皆さんに特に伝えたいのは「変わることも変わらないことも選べる」ということ。もっと言えば、そもそも変わるか変わらないかの二択ではなく、変わりたいところと変わりがたくないところをしっかりと見極めて、変わりがたくないところを大事にしてほしい。と書かれていました。10代向けに書かれた本ですので読んでみたい人はぜひ校長室まで来てください。お貸しします。(10代からのメンタルケア「みんなと違う」を大切にする方法:本田秀夫著)

みつめ、丘中のスローガン「確かな力を仲間と共に」についてです。みんな一人一人を色の違う小さな折り紙だと思ってください。その折り紙同士をのりにつなげて大きなモザイク画をつくろうとしたときに必要になるものは何でしょうか。そう、のりしろです。お互いにちょっとずつ提供しあってのりにつなげることが必要です。人間関係でも、学習でも、行事でも、部活でも、いろいろな場面でお互いにちょっとずつのりしろを意識しあえば、とても大きな力になります。時には先生というセロテープが必要な時もあるかもしれませんが、今年1年「のりしろ」という言葉を頭の隅に置いておいてくれたらうれしいです。

さあ！令和5年度スタートです！